

藤樹人間学塾… 「藤樹思想を学び考え実践する」

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に藤樹思想を学ぶとともに、今日的意義を自分の頭で考え、仲間と議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月第一土曜日の午後、開催しています。本会報ではその模様をお伝えいたします。

九月二日（土）午後、

第73回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

冒頭、八月に尼崎で行われた「実践人の家」全国研修会で、日本一の女性僧侶、青山俊薫師が「人生を円相で生きる」話をされましたので、その話を紹介しました。

『孝経』を素読後、『孝経啓蒙』の中の諫争章を学びました。一般に

儒教は君主や親に従順であれという教えであると受け止められています。が、孝経のこの章では、君主や親が道に外れるようなときは、勇気を出して諫めよ、と教えています。これは現代でも通じる教えであり、皆が認識を新たにしました。フリート

キングでは、陽明学と朱子学の違いなどについて議論しました。学びの後は、場所を替えて懇親会を楽しみました。

十月七日（土）午後、第74回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

今月は女性が二名参加。冒頭、九月に田中が三田市内で行われた上座部仏教の瞑想会に参加してきた話をし、「慈悲の瞑想」をする心が落ち着くなどと話しました。

『孝経』を素読の後、『孝経啓蒙』の「事君章」を学びました。教養人が組織の中で上司にどう対応すべきかを教えています。

フリートキングでは、現代社会においては、常時、組織や上司のことを考えていることは難しい。上司



に諫言する時には、勇気と判断力が必要が、正しい判断力を身に付けるには、こうした人間学の修養が不可欠などの意見が出ました。

十一月四日（土）午後、第75回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

冒頭、田中が藤樹先生ゆかりの地を見学したいという全国各地からご一行を案内した話をし、その代表者江藤秀亮様が博識で藤樹先生のことを上手くまとめられているのでそれをご紹介します。

『孝経』を素読の後、『孝経啓蒙』の「喪親章（親をうしなうの章）」を学びました。父母の死去を迎えた子の悲しみの態を示し、喪に服する期間は、遺族の健康面から最大実質二年とすると記しています。

フリートキングでは、生命の大切さについて考え、平和を保つ意義など今日的ないろいろな課題についても議論を行いました。

十二月二日（土）午後、第76回人間学塾を安曇川公民館で行いました。ここまでで二十一カ月かけて学んできた『孝経啓蒙』が終わりました。

道友の感想を聞くと、難しい言葉があつたが中味は藤樹先生の教えで人として生きる道が何となく分かってきたというものや、人間関係が疎遠になっていて現代社会において「孝」の教えは大変重要だという意見があり、皆さん続けて学びたいと

の感想でした。塾終了後、場所を替えて和やかに懇親会を行いました。



平成三十年一月からは中国古典『中庸』を藤樹先生が解釈され、西晋一郎先生が通釈された『中庸解・通釈』を学び、探求したいと思っています。やさしい副読本もあります。人間学に興味のある方はどうぞご参加ください。

「藤樹人間学塾 今後の予定」

- 1月6日（土）、 2月3日（土）、
 - ◎3月3日（土）、 4月7日（土）、
 - 5月12日（土）、 ◎6月2日（土）
- 時間 15時～17時（原則）
場所 安曇川公民館

◎印は塾を終了後、別場所懇親会あり